

調 査 結 果 の ポ イ ン ト

ポイント

1 心配ごと

「自分の病気や健康、老後のこと」が5割を超える
心配ごとの項目が5割を超えるのは初めて

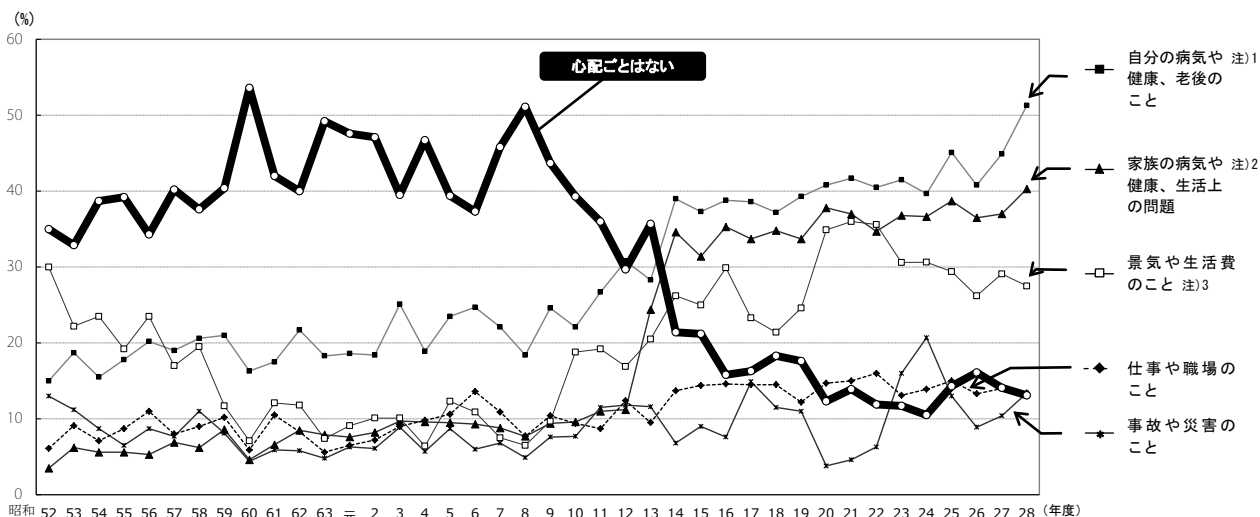
【心配ごとや困っていることの上位5項目】

順位	項目	28年度	27年度(順位)
1	自分の病気や健康、老後のこと	51.3%	44.9% (1)
2	家族の病気や健康、生活上の問題	40.3%	37.0% (2)
3	景気や生活費のこと	27.5%	29.1% (3)
4	仕事や職場のこと	13.4%	14.0% (4)
	事故や災害のこと		10.4% (6)
-	心配ごとや困っていることはない	13.1%	14.1%

(n=2,194)

(n=2,146)

【心配ごとや困っていることの経年変化】



昭和 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 元 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 (年度)

注)1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」 注)2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、13年から27年までは「家族の健康や生活上の問題」
注)3 平成9年までの選択肢は「インフレや物価高のこと」

ポイント

2 市政への満足度と要望

満足度が最も高いのは「バス・地下鉄などの便」で5割超
要望は「地震などの災害対策」が最も多い。

(n=2,194)

(n=2,194)

順位	満足の上位5項目 (複数回答)	
1	バス・地下鉄などの便	50.1% 48.1%(1)
2	ごみの分別収集、リサイクル	37.2% 35.3%(2)
3	良質な水の確保や安定供給	22.7% 22.8%(3)
4	最寄り駅周辺の整備	19.9% 18.8%(4)
5	公園・動物園の整備	18.4% 16.8%(6)

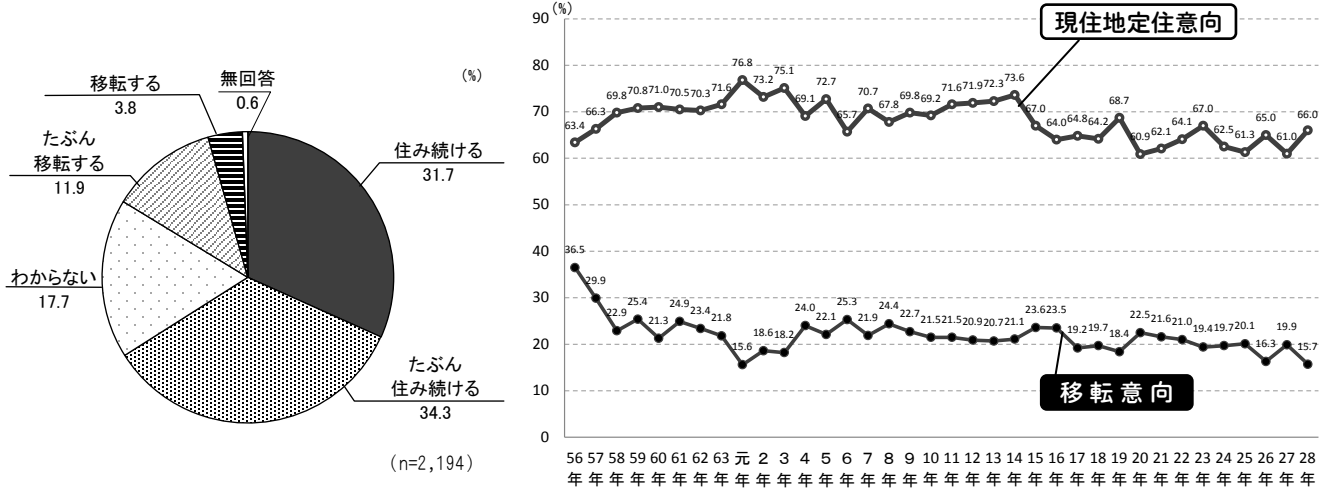
順位	要望の上位5項目 (複数回答)	
1	地震などの災害対策	36.6% 32.9%(1)
2	高齢者福祉	28.1% 26.8%(2)
3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり (駅舎へのエレベーター設置など)	25.8% 22.8%(7)
4	病院や救急医療など地域医療	25.4% 26.7%(3)
5	防犯対策	25.1% 25.9%(5)

*下段は平成27年度調査結果(n=2,146)と順位

定住意識

現住地定住意向が増加、移転意向は減少

・今住んでいるお住まいに住み続ける意向のある人（「住み続ける」+「たぶん住み続ける」）は66.0%で昨年調査より5.0ポイント増加、移転意向（「たぶん移転する」+「移転する」）は15.7%で4.2ポイント減少しました。

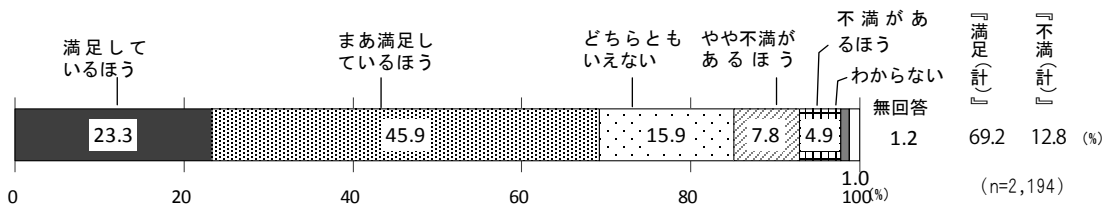


特集

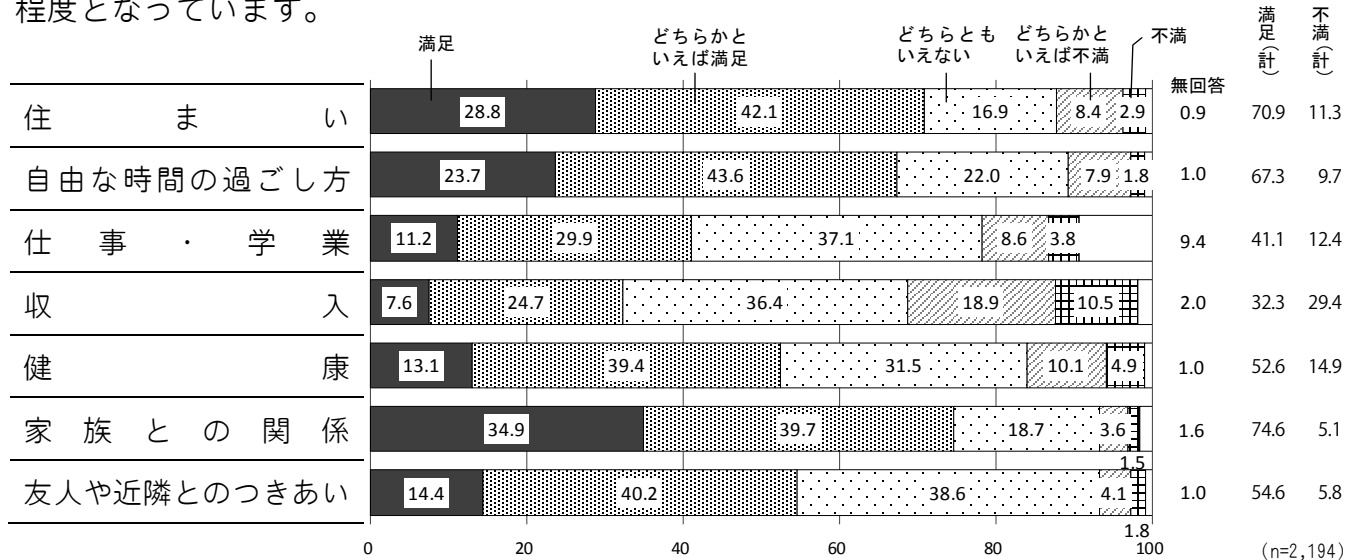
生活満足感

自分の生活に『満足』はおよそ7割
家族関係や住まいには7割が『満足』、収入は約3割

・今の自分の生活に満足している人（「満足」+「まあ満足」）は、約7割（69.2%）で昨年調査（68.3%）とあまり変わりありませんでした。

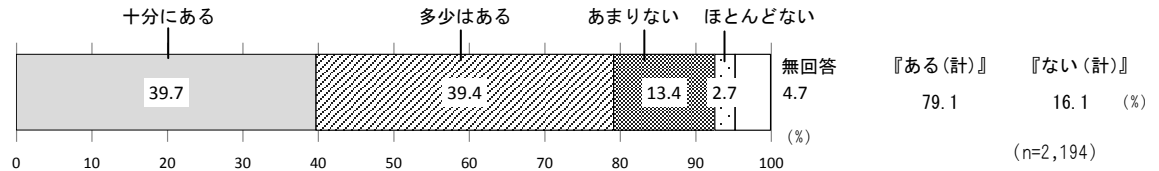


・項目別では、「家族との関係」に『満足』している人は74.6%、「住まい」では70.9%でした。一方、「仕事・学業」は約4割で、「収入」では『満足』と『不満』がいずれも3割程度となっています。



自由に過ごせる時間 自由に過ごせる時間を過ごすのは「家族や親類」が4割 およそ5割は「あまり外出せず自宅過ごす」

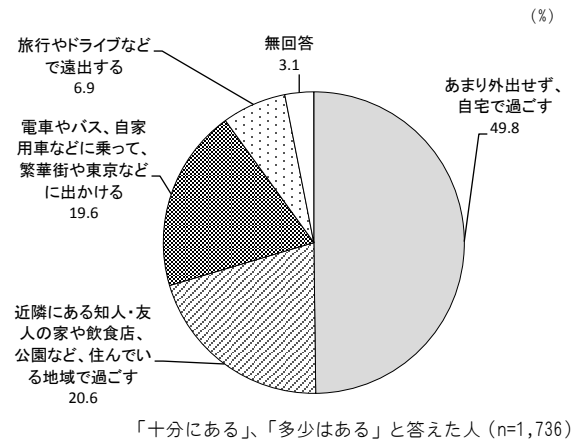
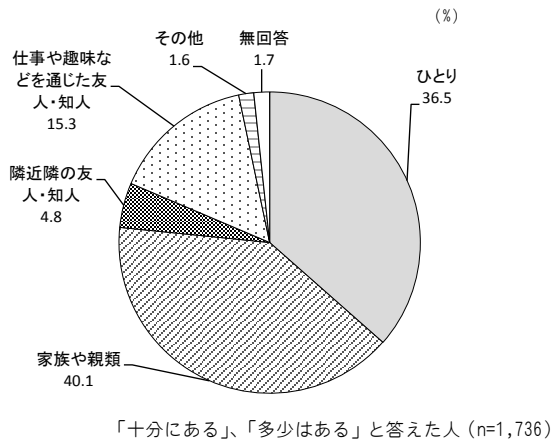
・ 普段自由に過ごせる時間が「十分にある」人がおよそ4割、「多少はある」(39.4%)と合
せると、約8割が「ある」と回答している。



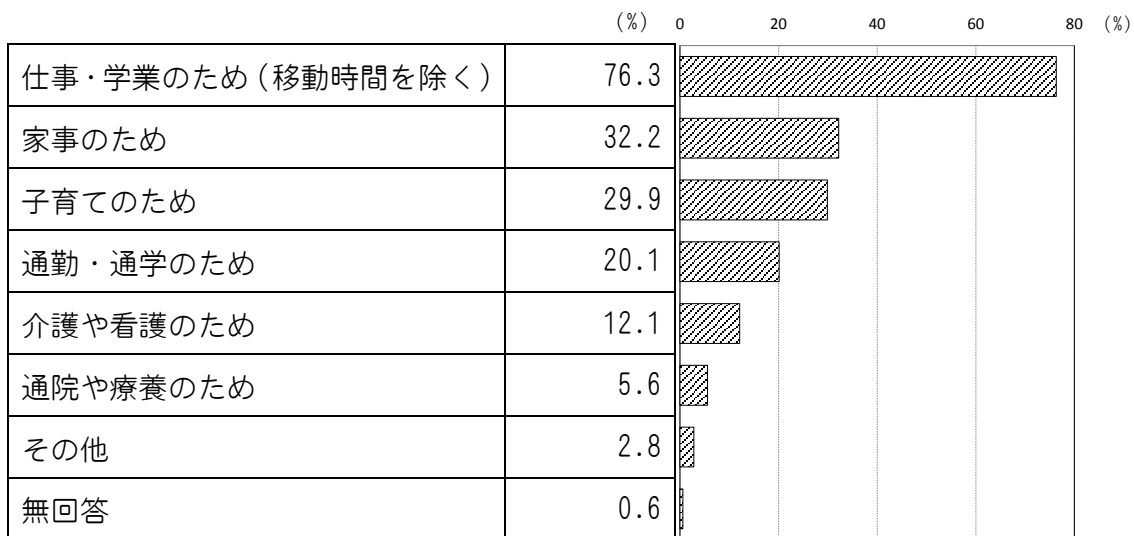
・ 自由に過ごせる時間を共に過ごすのは、「家族や親類」が4割と最も多く、次いで、「ひとり」(36.5%)でした。また、およそ5割は「あまり外出せず自宅」で過ごしています。

■自由に過ごせる時間を、誰と過ごすことが多いですか。

■自由に過ごせる時間を、どこで過ごすことが多いですか。



・ 自由に過ごせる時間がない理由（複数回答）は、「仕事・学業のため」が76.3%と最も多く、次いで「家事のため」(32.2%)、「子育てのため」(29.9%)となっています。

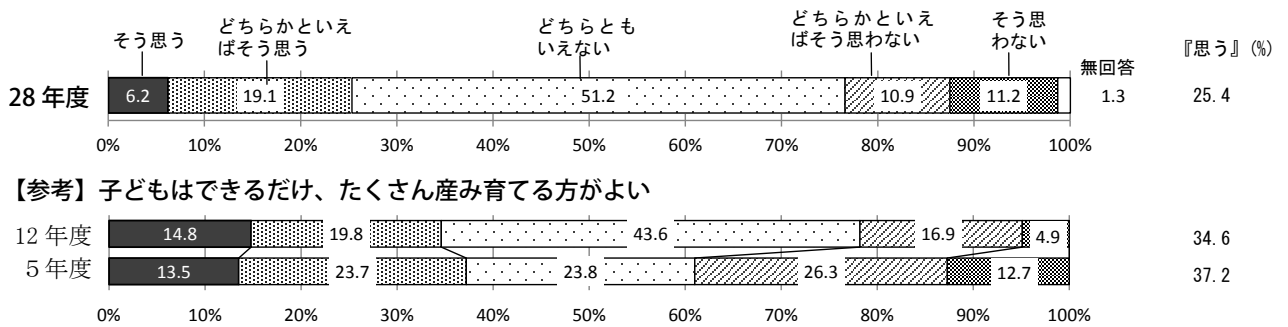


生活価値観

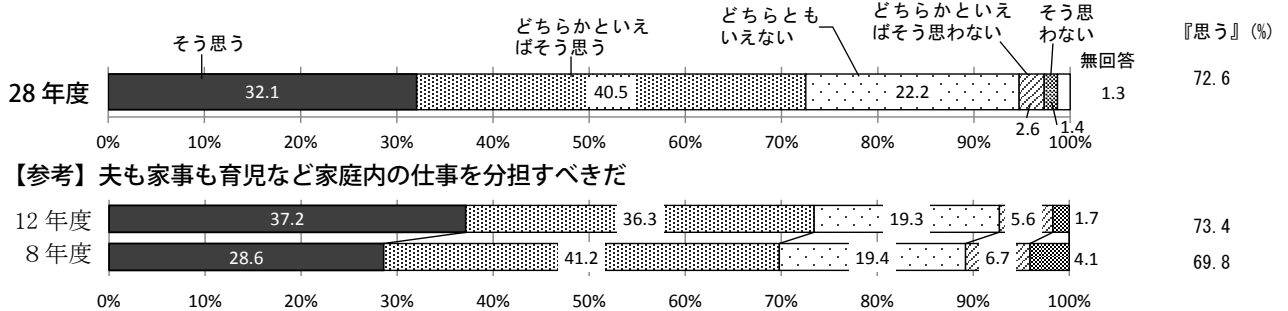
「夫も家事や育児を分担すべきだ」と思う人が約7割、「いくつになっても元気なうちは働くべきだ」は約6割

- ・「夫も家事や育児を分担すべきだ」に『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）と回答した人は約7割で、同様の質問をした平成12年度の調査結果と較べると0.8ポイント減少しました。
- ・「子どもはなるべくたくさん産み育てる方がよい」や「老後は子どもや孫と一緒に暮らしたほうがよい」、「いくつになっても元気なうちは働くべきだ」、「いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい」、「多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい」、「同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい」、「今の世の中は努力すれば報われる社会だ」などの項目で、『思う』が減少しています。
- ・下記に、生活価値観について尋ねた項目の中から、特徴的なものを抜粋しました。

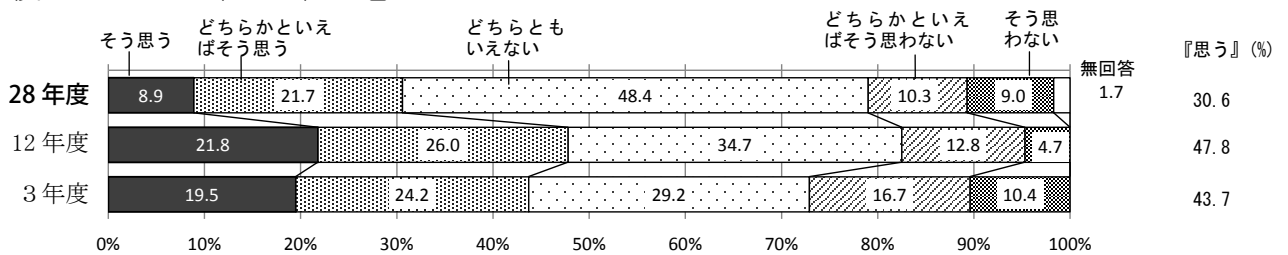
● 子どもはなるべくたくさん産み育てる方がよい



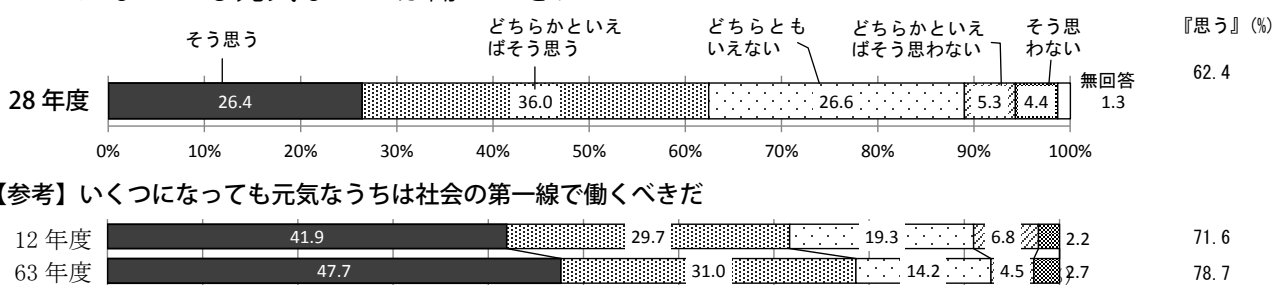
● 夫も家事や育児を分担すべきだ



● 老後は子どもや孫と一緒に暮らしたほうがよい

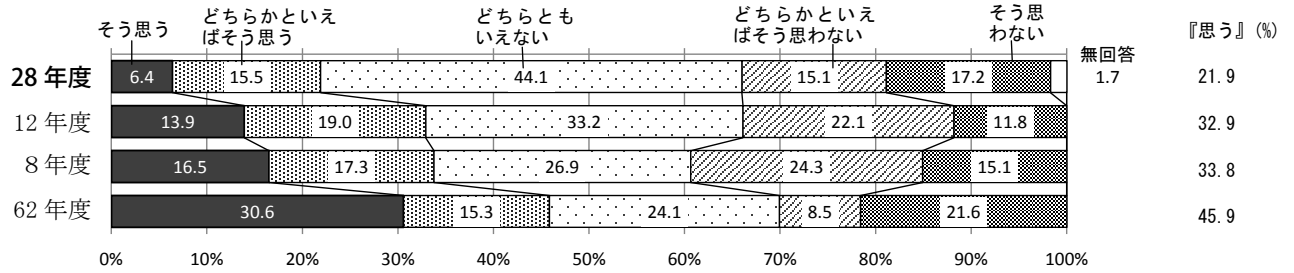


● いくつになっても元気なうちは働くべきだ

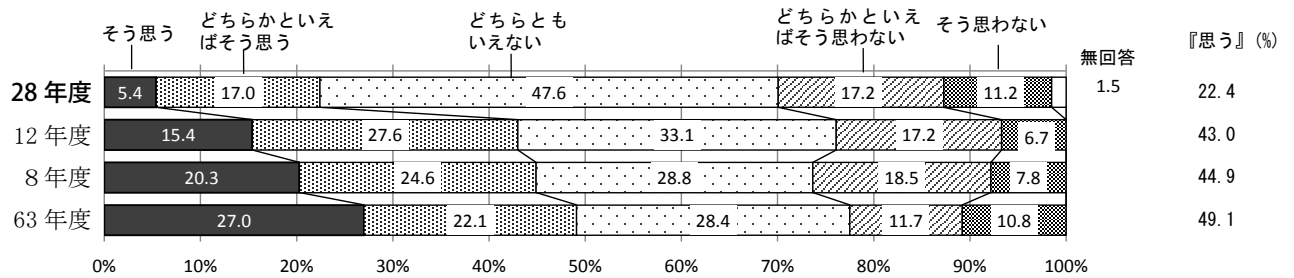


*『思う』は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。
*昭和63年度 n=965 3年度 n=2,223 5年度 n=2,256 8年度 n=2,139 12年度 n=2,169 28年度 n=2,194

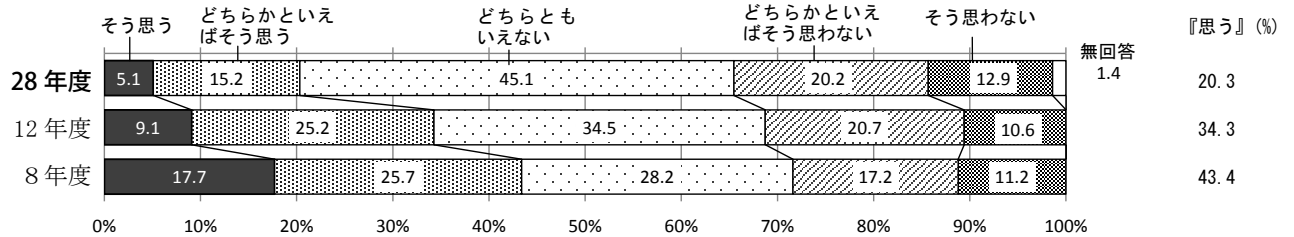
● いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい



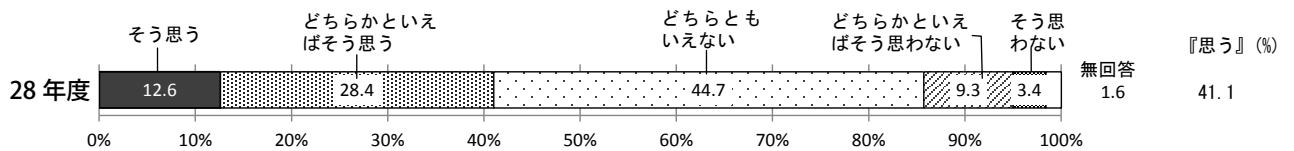
● 多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい



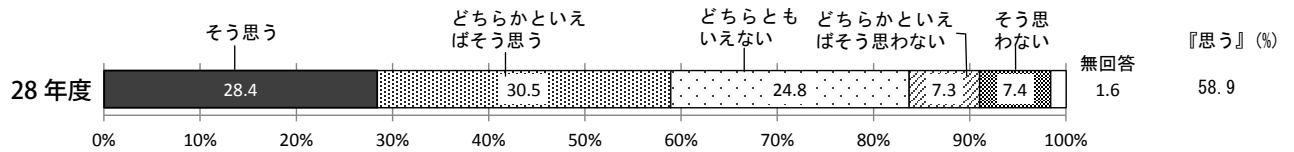
● 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい



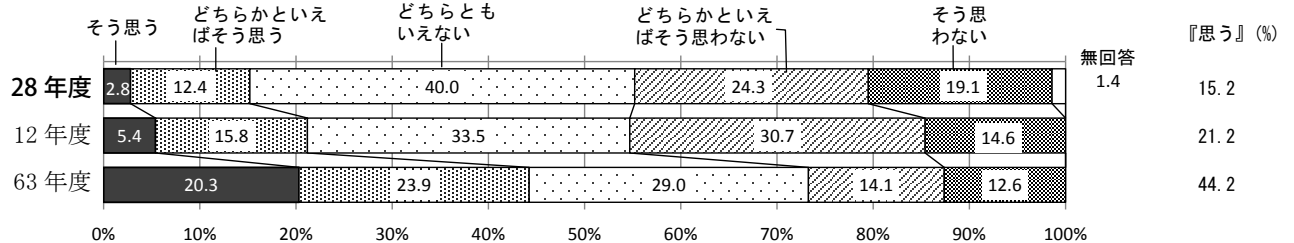
● いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい



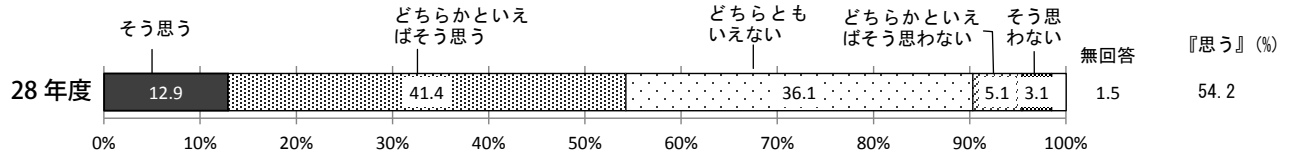
● インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である



● 今の世の中は努力すれば報われる社会だ



● 何らかの形で、積極的に社会貢献したい



*『思う』は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。

*昭和62年度 n=955 昭和63年度 n=965 8年度 n=2,139 12年度 n=2,169 28年度 n=2,194